

平成 25 年度第 1 回一関市総合計画審議会会議録

平成 25 年 5 月 16 日

企画調整課

1. 開催日時

平成 25 年 5 月 9 日（木） 午前 10 時～12 時

2. 開催場所

一関市役所 2 階 大会議室

3. 出席者

（1）一関市総合計画審議会委員 21 人

及川忠委員、大澤弘毅委員、小野松男委員、木村静恵委員、金野久美委員、小岩邦弘委員、小森洋子委員、佐藤芳郎委員、菅原五三男委員、菅原勇委員、千田博委員、千葉和行委員、千葉久美委員、千葉敏恵委員、千葉博委員、千葉真美子委員、槻山千工委員、永澤由利委員、沼倉恵子委員、畠中良之委員、三浦幹夫委員

欠席委員 6 人

阿部新一委員、阿部美代子委員、岩淵三枝子委員、小山麗子委員、千葉政吉委員、松岡千賀子委員

（2）市出席者

市長、企画振興部長、総務部長、企画調整課員

4. 議題

- （1）一関市総合計画後期基本計画「主な指標」の平成 24 年度末時点の状況報告について
- （2）次期一関市総合計画期間（H28 年度以降）における実施計画事業費について
- （3）一関市総合計画実施計画（H26・27・28 年度）の策定について

5. 会議の内容

議題（1）一関市総合計画後期基本計画「主な指標」の平成 24 年度末時点の状況報告について
初めに事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を行った。

審議会委員意見

指標項目の目標数値の設定について、「男女それぞれの委員数が委員定数の 40% 以上である審議会等の数の全審議会等に対する割合」については、目標数値が現実からほど遠い数値である。指標項目の設定は、現実的なものに見直しを図るべきではないか。

市回答

指標項目の目標数値の見直しについては、ご意見として承ります。

市回答

男女共同参画社会の形成に向けては、本年度の市職員の人事異動では、女性職員の幹部職員への登用を積極的に行った。これからも積極的に登用していきたいと考える。

議題（２）次期一関市総合計画期間（H28年度以降）における実施計画事業費について
初めに事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を行った。

審議会委員意見

早急に協働のための組織作りを進め、地域の特色、地域ビジョンを（仮称）住み良い地域づくり推進事業に反映していくことが必要である。

市回答

各地域の特色は地域から挙げてもらうことを基本と考えている。

協働のための組織づくりは、急いで形だけのものを作ってはだめなので、時間が掛るかと思うが、足がかり的なものは行政でサポートしていく。

審議会委員意見

次期総合計画では、地域の人たちが話し合いにより作った計画が反映できる計画とし、事業を組み立てられたい。

審議会委員意見

単年度事業費 45 億円の根拠はどのようなものか。

市回答

財政見通しに基づき、事業費を 45 億円と設定した。

ハード事業については、主な箱物、施設の整備は平成 27 年度までに完了する見込みであることから、箱物以外のハード事業について、平成 28 年度以降は事業費の 2 割を削減することとし見込んでいる。

ソフト事業については、平成 28 年度以降も同規模の事業費で継続することとし見込んでいる。

審議会委員意見

財政見通しについて、歳入の固定資産税が上がる見通しは、地価が上がるという見込みか。

市回答

土地の下落については、平成 29 年度以降ないものとして見込んでいる。

議題（ 3 ）一関市総合計画実施計画（ H26・27・28 年度）の策定について

初めに、事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を行った。

審議会委員意見

小児用インフルエンザ助成事業について、周知の方法はどのようにしているか。

市回答

市広報での周知を基本とし、助成対象となる生活保護世帯、住民税非課税世帯には個別に通知していることを説明。

審議会委員意見

大東小学校の通学路の交通安全施設の整備状況をお聞きしたい。

市回答

統合推進委員会から要望のあった歩道整備事業の進捗状況を報告。

その他の要望等については、支所において随時、対応を検討している状況にあることを報告。

審議会委員意見

一ノ関駅と周辺市街地の景観形成について、建築規制なども検討されたい。

審議会委員意見

スポーツ・レクリエーション施設、博物館、なのはなプラザの利用を促進する工夫が必要であり、予算も増額していただきたい。

審議会委員意見

女性が安心して仕事ができるよう、保育環境の整備により一層、取り組んでいただきたい。
市の幹部職員への女性の登用を進められたい。

審議会委員意見

事業の財源としている過疎債の発行にあたっては、慎重を来されたい。

午前 12 時 閉会

6 . 会議の公開、非公開

公開

7. 傍聴者の数
3人（報道機関）